

中国大手 EC & 小売インフラカンパニー <sup>ジンドン</sup> 京東集団【JD.com】

## “エコ+スマート倉庫”が上海で稼働開始

2030年までに、総敷地2億平方メートルの倉庫で採用

中国市場を牽引する EC サイト「<sup>ジンドンしょうじょう</sup>京東商城 (JD.com)」を運営する大手 EC & 小売インフラカンパニー <sup>ジンドンしゅうだん</sup> 京東集団 (代表: 劉強東 本社: 中華人民共和国 北京市 NASDAQ: JD) は、2018年5月、中国・上海にある高度自動化“スマート倉庫”「アジア No.1」の屋上に、太陽光発電システムを設置し、稼働開始しましたのでお知らせします。

今回稼働を開始した太陽光発電システムは、電力消費の多い自動化倉庫において、立体自動倉庫やスマートロボ、自動選別システム等に対してクリーンなエネルギーを提供するクリーンエネルギー発電機です。本エネルギーを採用することで、エリア内で稼働する電気自動車への充電や、倉庫運営のすべてのシステムにおける二酸化炭素 (CO2) や有害化学物質の排出ゼロを実現することも可能となり、様々な応用が期待できます。今後、現在全国に数十拠点 (建設中も含め) ある物流センター「アジア No.1」にこの太陽光発電システムを導入し、2030年までに総敷地2億平方メートルの倉庫で採用予定です。

さらに「アジア No.1」では、さらなるエネルギーコスト削減のため、保温・断熱材の効果的な採用や通気性・自然光など、業界水準を越える高い設計基準を設定しています。また今後、太陽光発電システム以外にも、貯水システムも積極的に導入予定です。現在上海の「アジア No.1」の地下にある貯水タンクでも雨水を貯蓄しており、この水資源は緑化地域の灌漑等としても利用可能です。

なお、京東は環境保護分野における理念である「清流万向計画」に伴い、現在、2030年までに10億トンのCO2削減を目指しています。京東の「アジア No.1」は、京東のスマート物流における近代化インフラのモデル倉庫として、新たな挑戦を続けてまいります。



**■京東物流上海アジア1号太陽光発電プロジェクト責任者 初旭輝氏コメント**

「京東物流は現在、国内外の著名な太陽光発電設備メーカーとともに大規模な太陽光発電システムの展開を加速させている。今年年末までに約100万平方メートル面積に相当する倉庫の屋上にこのシステムが導入されるだろう。」

**【会社概要】**

- 会社名 : JD.com 京東日本株式会社
- 所在地 : 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-1  
大手町パークビルディング7階703
- TEL : 03-6259-1951
- 資本金 : 3,000万円
- 代表者 : 日本業務最高責任者 荒井伸二
- 業務内容 : 越境ECの進出支援、日中間の一般貿易及び技術提携窓口